

2025 年 3 月 26 日

第 11 回 ONE ジャパン ターミナル安全・品質大会を開催

オーシャン ネットワーク エクスプレス ジャパン(ONEジャパン)は 3 月 11 日、『第 11 回ONEジャパン ターミナル安全・品質大会(京浜大会)』を ONE ジャパン本社(東京 / 品川)で開催しました。ONEジャパン ターミナル安全・品質委員会(委員長:戸田潤代表取締役社長)主催のもと、京浜地区のパートナー会社をはじめとする関係者約 50 名が参加し、各社が実施している安全活動や今後の重点的な取り組み方針を報告しました。



開催にあたり、戸田委員長は「年明けからターミナル混雑がさらに深刻となる中、パートナー各社においては最大限のご協力をいただいていることにまずは感謝を申し上げたい。ターミナル内の事故は着実に減っているものの、まだ事故ゼロということではない。今後とも、合同パトロールの実施や安全大会でのグループディスカッションによって情報の横展開を活発化させ、引き続き事故ゼロに向けての活動を行っていききたい」とあいさつしました。

大会では今井久委員(港湾部部長)から、事故防止のため各パートナー会社に向けての今後の協力依頼事項について、また 25 年5～7 月に行う安全キャンペーンの概要について説明。パートナー各社からは 24 年度に発生した事故事例の共有と対策、また安全のための取り組みについて発表が行われました。

会の後半では、24 年度において事故ゼロを達成したパートナー会社、並びに積極的な安全活動を行ったパートナー会社に対して表彰が行われました。表彰を受けたパートナー会社からは、『船会社は運航、港湾会社は港』とそれぞれの安全だけを考えるのではなく、一枚岩で活動できている実感がある。

今後ともそれぞれの観点から知恵を出し合い、協力して安全・品質の向上を目指したい。」とコメントをいただきました。

<グループディスカッションの様子>



北村幸一副委員長(取締役 常務執行役員)は 24 年度を振り返り、「パートナー各社からは、作業環境の改善や異常気象への対応など、様々な点でこれまでの基準を見つめ直し、改善させてきたと報告を受けている。そのような取り組みのお陰で、パートナー各社における 24 年度の事故件数は大幅に減少したと認識している。皆様の取り組みに感謝を申し上げるとともに、この傾向を続けていきたい」とパートナー各社とともに安全対策に一層力を入れていく決意を示しました。

大会の閉会にあたっては、村尾委員(常務執行役員)から改めてパートナー各社への感謝を述べたうえで、「25 年度も貪欲に『事故ゼロ』を目指し、パートナー各社と協力していきたい」と、改めて新たな年度へ向けての決意を述べました。

以上